

12月の村の人口
世帯数 1,052
人口 4,617
出生 0人
死亡 9人
12月の住民移動 転入7人 転出11人

広報 やまこし

発行所 新会 山古 山古 山古
印刷所 大川印刷所

家内労働者(内職者)の労働条件を改善し、生活の安定をはかるため「家内労働者法」が制定された。

市町村行政を生活圏ごと「広域市町村圏」に...

長岡・小出広域市町村圏発足へ
四十六年度指定を目前に

家内労働者(内職者)の労働条件を改善し、生活の安定をはかるため「家内労働者法」が制定された。

市町村行政を生活圏ごと「広域市町村圏」に...

長岡・小出広域市町村圏発足へ
四十六年度指定を目前に

所得税の確定申告
3月15日までに

所得税の確定申告
3月15日までに

所得税の確定申告
3月15日までに

所得控除額一覧
基礎控除 177,500
配偶者控除 177,500
扶養控除(1人につき) 115,000
社会保険料控除 全額
生命保険料控除 最高 37,500
損害保険料控除 最高 10,000
障害者控除 97,500
老齢者、か、勤労学生 97,500

所得控除額一覧
基礎控除 177,500
配偶者控除 177,500
扶養控除(1人につき) 115,000
社会保険料控除 全額
生命保険料控除 最高 37,500
損害保険料控除 最高 10,000
障害者控除 97,500
老齢者、か、勤労学生 97,500

所得控除額一覧
基礎控除 177,500
配偶者控除 177,500
扶養控除(1人につき) 115,000
社会保険料控除 全額
生命保険料控除 最高 37,500
損害保険料控除 最高 10,000
障害者控除 97,500
老齢者、か、勤労学生 97,500

お年玉つき年賀はがき当選番号
1等(3,860本) = 8ミリ撮影機、映写機、A/B共通 807073 587141 789484

お年玉つき年賀はがき当選番号
1等(3,860本) = 8ミリ撮影機、映写機、A/B共通 807073 587141 789484

お年玉つき年賀はがき当選番号
1等(3,860本) = 8ミリ撮影機、映写機、A/B共通 807073 587141 789484

お年玉つき年賀はがき当選番号
2等(21,800本) = 超耐久、ガラ、2等食器セット(下5ヶタ) A/B共通 360112 67106

お年玉つき年賀はがき当選番号
2等(21,800本) = 超耐久、ガラ、2等食器セット(下5ヶタ) A/B共通 360112 67106

お年玉つき年賀はがき当選番号
2等(21,800本) = 超耐久、ガラ、2等食器セット(下5ヶタ) A/B共通 360112 67106

お年玉つき年賀はがき当選番号
3等(168,000本) = 保温水筒 A/B共通(下4ヶタ) 6377

お年玉つき年賀はがき当選番号
3等(168,000本) = 保温水筒 A/B共通(下4ヶタ) 6377

お年玉つき年賀はがき当選番号
3等(168,000本) = 保温水筒 A/B共通(下4ヶタ) 6377

お年玉つき年賀はがき当選番号
4等(3,360,000本) = グリーナ、インクカセット(下3ヶタ) A/B共通 060

お年玉つき年賀はがき当選番号
4等(3,360,000本) = グリーナ、インクカセット(下3ヶタ) A/B共通 060

お年玉つき年賀はがき当選番号
4等(3,360,000本) = グリーナ、インクカセット(下3ヶタ) A/B共通 060

お年玉つき年賀はがき当選番号
5等(50,400,000本) = お年玉切手シート A/B共通(下2ヶタ) 19

お年玉つき年賀はがき当選番号
5等(50,400,000本) = お年玉切手シート A/B共通(下2ヶタ) 19

お年玉つき年賀はがき当選番号
5等(50,400,000本) = お年玉切手シート A/B共通(下2ヶタ) 19

加入する人
昭和四十六年一月一日現在で五十五歳をこえない人...

登記の知識を...
土地を買い人・買った人

農業者年金一月からスタート
あなたも加入をどうぞ

掛金は月七百五十円
農業者年金の加入者が、一時的に掛金を納めず...

いくらもらえるか
掛金を納めた期間により、もらえる年金額は異なります...

離農給付金
農業者年金に加入して、農業を離れるとき...

いくらもらえるか
掛金を納めた期間により、もらえる年金額は異なります...



そなえあればうれしいなし
交通共済に加入して
皆んな笑顔で
新会員受付 3月1日から

お知らせ
お年玉つき年賀はがき当選番号
1等(3,860本) = 8ミリ撮影機、映写機、A/B共通 807073 587141 789484

昭和44年度

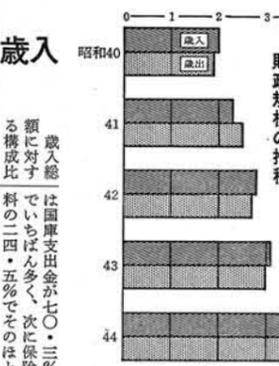
一般会計 歳出額2億550万円

実施した主な事業

事業名	千円	事業名	千円
中野一桂谷線改良	2,924	ニシキゴイ越冬施設	1,200
間内平一南河原線改良	5,608	種芋原教員住宅新築	8,351
堀金一桂谷線改良	572	種芋原小プール浄化装置	1,467
虫亀一南河原線改良	742	虫亀小プール浄化装置	1,015
種芋原中央線改良	323	種芋原中改造	1,222
竹沢一堀谷線改良	2,550	消防ポンプ購入(3台)	1,050
村中橋掛け替え	4,389	消防特別対策事業	1,408
農道外山線改良	1,463	虫亀一小栗山線復旧	1,718
農道西原寺線改良	1,252	虫亀一南河原線復旧	934
ブルドーザー購入	5,450	農道城山線復旧	1,264
ボウリング機購入	455	下平農道復旧	253
種芋共同飼育所新築	5,033	ため池復旧	898
総合共同作業所新築	2,800	農道改良工事負担金	1,624

決算の概況

項目	当初予算額	最終予算額	決算額(ア)	前年度決算額(イ)	差(ア)-(イ)	引(イ)-(ア)
歳入	35,832	36,858	37,661	31,126	6,535	-
歳出	35,832	36,858	35,497	29,599	5,898	-
差引	-	-	2,164	1,527	637	-

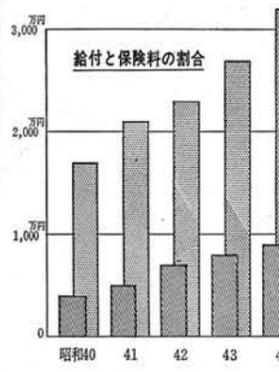


歳入決算

項目	昭和43年度	昭和44年度	比較
保険料	7,683	9,214	19.9%
使用料手数料	2	0	△50.0%
国庫支出金	21,701	26,483	22.0%
県支出金	3	0	33.3%
財産収入	17	18	5.6%
繰入金	1,000	600	△40.0%
繰越金	717	1,177	64.2%
諸収入	3	164	546.7%
計	31,126	37,661	21.0%

歳出決算

項目	昭和43年度	昭和44年度	比較
総務費	1,761	2,039	15.8%
保険給付費	26,694	32,130	20.4%
保健施設費	1,092	1,289	18.0%
公債費	52	38	△26.9%
諸支出金	0	0	100.0%
計	29,599	35,497	19.9%



被保険者数と受診件数

年	被保険者数	受診件数	1人当たり受診回数	
			入院	外来
昭和41	4,479	9,759	0.07	1.69
42	4,317	9,929	0.08	1.82
43	4,155	11,258	0.09	2.16
44	4,034	11,206	0.09	2.22

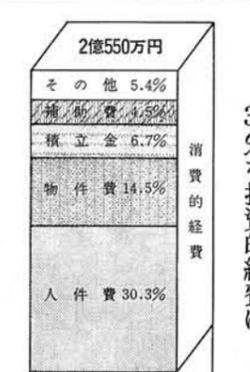
国民健康保険特別会計

昭和四十四年度の国民健康保険特別会計の収支状況は、歳入総額三千七百六十六万一千円、歳出総額三千五百四十九万七千円、差し引き二百一十二万九千七百一十七円、黒字繰り越しとなり、これを前年度と比較すると、歳入は六百五十三万五千円(一・九%)、歳出は六百八十九万八千八百九十九円(一・九%)の伸びとなつてい

昭和四十四年度の国民健康保険特別会計の収支状況は、歳入総額三千七百六十六万一千円、歳出総額三千五百四十九万七千円、差し引き二百一十二万九千七百一十七円、黒字繰り越しとなり、これを前年度と比較すると、歳入は六百五十三万五千円(一・九%)、歳出は六百八十九万八千八百九十九円(一・九%)の伸びとなつてい

最近五年間の保険給付費は、昭和四十一年に二千三百九十円、四十二年に二千八百七十円、四十三年に三千二百七十円、四十四年に三千七百七十円と、増加傾向にある。これは、医療費の増大、受診回数の増加、入院日数の増加などによるものである。

最近五年間の保険給付費は、昭和四十一年に二千三百九十円、四十二年に二千八百七十円、四十三年に三千二百七十円、四十四年に三千七百七十円と、増加傾向にある。これは、医療費の増大、受診回数の増加、入院日数の増加などによるものである。



村民1人当り

項目	昭和44年度	昭和43年度
歳入総額	4,726	4,231
歳出総額	4,134	3,749
差引	592	482

決算の状況 (単位千円)

項目	当初予算	最終予算	決算額(ア)	前年度決算額(イ)	差(ア)-(イ)	引(イ)-(ア)
歳入	1,081	1,203	1,244	1,093	151	-
歳出	1,081	1,203	1,244	1,093	151	-
差引	-	-	286	90	196	-

性質別にみた歳出決算

項目	昭和44年度(A)	43年度(B)	前年との比較(A)-(B)	増減率
人件費	62,348	55,831	6,517	11.7%
物件費	29,767	25,994	3,773	14.5%
維持補修費	10,850	7,199	3,651	50.7%
扶助費	2,731	2,922	△191	△6.5%
補助費	9,243	12,393	△3,150	△25.4%
建設事業費	53,204	39,709	13,495	34.0%
災害復旧費	15,226	10,527	4,699	44.6%
公債費	4,545	3,865	680	17.6%
積立金	13,744	8,118	5,626	69.3%
貸付金	160	150	100	1,500.0%
繰出金	3,689	3,743	△54	△1.4%
計	205,507	170,311	35,196	20.7%

過去10年間の歳出決算額は、35年の約6倍に伸びる。これは、人口の増加、生活水準の向上、社会サービスの充実などによるものである。

虫歯診療所の決算状況は、歳入総額二百七十三万一千五百円、歳出総額二百七十三万一千五百円、黒字繰り越しとなり、これを前年度と比較すると、歳入は五万五千円(二・〇%)、歳出は五万五千円(二・〇%)の伸びとなつてい

虫歯診療所の決算状況は、歳入総額二百七十三万一千五百円、歳出総額二百七十三万一千五百円、黒字繰り越しとなり、これを前年度と比較すると、歳入は五万五千円(二・〇%)、歳出は五万五千円(二・〇%)の伸びとなつてい

の決算状況

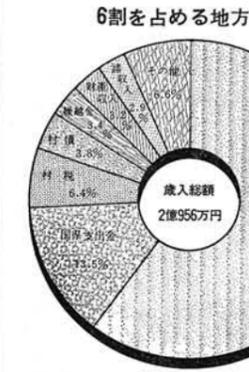
黒字は400万円

歳入

項目	当初予算額	最終予算額	決算額(A)	前年度決算額(B)	差(A)-(B)	引(B)-(A)
歳入	153,004	214,008	209,556	179,367	30,189	-
歳出	153,004	214,008	205,507	170,311	35,196	-
差引	-	-	4,049	9,056	△5,007	-

決算の概況

項目	当初予算額	最終予算額	決算額(A)	前年度決算額(B)	差(A)-(B)	引(B)-(A)
歳入	153,004	214,008	209,556	179,367	30,189	-
歳出	153,004	214,008	205,507	170,311	35,196	-
差引	-	-	4,049	9,056	△5,007	-



6割を占める地方交付税。これは、国庫補助金、県補助金、市町村交付金などによるものである。地方交付税の増加は、地方自治体の財政を安定させる上で重要な役割を果たしている。

目的別にみた歳出決算

項目	決算額	構成比	対前年増減率
議会費	6,341	3.1%	25.2%
総務費	45,159	22.0%	27.7%
民生費	6,903	3.3%	14.7%
労働費	198	0.1%	27.7%
農林水産費	31,524	15.3%	8.7%
商工費	169	0.1%	10.5%
土木費	41,943	20.4%	4.1%
消防費	3,882	1.9%	46.7%
教育費	42,674	20.8%	58.2%
災害復旧費	15,226	7.4%	19.6%
公債費	4,545	2.2%	17.6%
計	205,507	100.0%	20.7%

決算の状況 (単位千円)

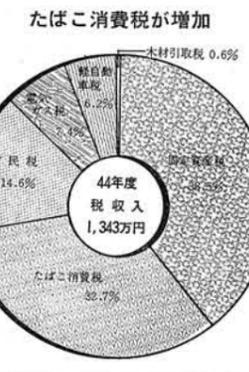
項目	当初予算	最終予算	決算額(ア)	前年度決算額(イ)	差(ア)-(イ)	引(イ)-(ア)
歳入	5,385	6,304	6,559	5,134	1,425	-
歳出	5,385	6,304	6,559	5,134	1,425	-
差引	-	-	586	197	389	-

たばこ消費税が増加。これは、国庫補助金の削減によるものである。たばこ消費税の増加は、地方自治体の財政を安定させる上で重要な役割を果たしている。

歳出総額二億五千万円。これは、歳入総額三億七千六百六十一万一千円に比べて、黒字繰り越しとなり、これを前年度と比較すると、歳入は六百五十三万五千円(一・九%)、歳出は六百八十九万八千八百九十九円(一・九%)の伸びとなつてい

使った経費を合せて七千九百九十四万八千七百九十九円と、前年より二・五%少ない。これは、歳入の増加によるものである。

昭和四十四年度の竹沢診療所の決算状況は、歳入総額九千九百九十九円、歳出総額九千九百九十九円、黒字繰り越しとなり、これを前年度と比較すると、歳入は九千九百九十九円(一・〇%)、歳出は九千九百九十九円(一・〇%)の伸びとなつてい



税収入の内訳

項目	昭和44年度	昭和43年度	比較
収入額(A)	1,343	1,198	12.1%
構成比(B)	100.0%	100.0%	-
差(A)-(B)	145	145	12.1%
引(B)-(A)	-	-	-

昭和四十四年度の竹沢診療所の決算状況は、歳入総額九千九百九十九円、歳出総額九千九百九十九円、黒字繰り越しとなり、これを前年度と比較すると、歳入は九千九百九十九円(一・〇%)、歳出は九千九百九十九円(一・〇%)の伸びとなつてい

村の財産(土地と建物)

項目	土地	建物	計
本庁舎	856㎡	395㎡	1,251㎡
出張所庁舎	-	592㎡	592㎡
警察・消防施設	253	444	697
学舎	23,893	7,930	31,823
教員住宅	2,509	1,421	3,930
旧農業高校校舎	-	554	554
農業改良普及所	-	38	38
雪中避難小屋	-	10	10
共同作業所	-	351	351
種畜共同飼育所	-	261	261
その他の施設	-	532	532
山林	562,183	-	562,183
山原	21,867	-	21,867
計	612,704	12,528	625,232

昭和四十四年度の竹沢診療所の決算状況は、歳入総額九千九百九十九円、歳出総額九千九百九十九円、黒字繰り越しとなり、これを前年度と比較すると、歳入は九千九百九十九円(一・〇%)、歳出は九千九百九十九円(一・〇%)の伸びとなつてい

昭和四十四年度の竹沢診療所の決算状況は、歳入総額九千九百九十九円、歳出総額九千九百九十九円、黒字繰り越しとなり、これを前年度と比較すると、歳入は九千九百九十九円(一・〇%)、歳出は九千九百九十九円(一・〇%)の伸びとなつてい

山古志村告示第一号
昭和四十六年二月一日
山古志村長 佐藤 久

山古志村財政事情を次のとおり公表します
昭和四十四年度の山古志村各会計の決算は、十二月定例村議会にて承認された。その内容についてお知らせします。